

津軽・下北地域半島振興計画

1 計画策定の目的

この計画は、津軽・下北半島地域固有の特色や可能性、新たなニーズに立脚した広域的かつ総合的な振興を図ることによって、個性豊かで魅力ある半島地域を築くことを目的としています。

2 振興の理念

本地域の現居住者が、豊かで安定した収入、安全性・快適性及び高い利便性（都市機能）を享受して日々の生活を楽しみ、地域に魅力と誇り・愛着を感じながら定住できるように、また、本地域が有する豊かな自然・歴史・文化資源等を生かし、知的充足感が得られる余暇生活の場を国民に提供できるよう振興することとしています。

3 計画の性格、視点

この計画は、県、市町村が一体となって半島振興に努める上での指針となるものであり、全県的、全国的及び世界的な視点に立って策定しています。

4 対象区域

津軽半島地域

五所川原市、つがる市、今別町、蓬田村、外ヶ浜町、板柳町、鶴田町、中泊町の8市町村となっています。

下北半島地域

むつ市、野辺地町、横浜町、東北町（東北町のうち東北地区）、六ヶ所村、大間町、東通村、風間浦村、佐井村の9市町村となっています。

5 計画期間

平成17年度～平成26年度までの10年間としています。

6 他の計画との連携と調和

県の生活創造推進プラン、国の国土総合開発計画、半島地域内市町村の長期総合計画等との調和を図っています。

津軽・下北地域半島振興計画体系図

